

第20回児童虐待防止対策協議会	資料4-1
平成29年11月22日	

「一般社団法人日本子ども虐待防止学会」
提出資料

児童虐待防止対策協議会に関する質問

厚生労働省 子ども家庭局
家庭福祉課
虐待防止対策推進室 御中

日本子ども虐待防止学会理事長
奥山 眞紀子

平素より大変お世話になっております。

日本子ども虐待防止学会は1996年に「日本子ども虐待防止研究会」として発足して以来、医療・保健・福祉・教育・司法・行政・立法などに係る実践家や研究者からなる学際的な学会として、子どもを虐待から守るための取り組みの発展を目指してきております。

本協議会には第一回より参加させていただいております。昨年は理事長として奥山が出席いたしましたが、今年は残念ながら出席がかなわない状況にあります。昨年度出席させていただき、協議会に関して幾つか疑問を感じましたので、ここにその一部に関して質問をさせていただきたく存じます。

本質問は理事長である奥山個人の質問であり、日本子ども虐待防止学会の理事会の総意としてではございません。出席した立場からの質問としてお受け取りいただけますよう、よろしく願いいたします。

1. 協議会の目的および協議会の進め方に関して

本協議会の目的は関係団体の意見交換とされています。設置された20年近く前は、子ども虐待防止に取り組む団体もそれほど多くなく、また、情報交換の場も少ない段階であったため、年1回の協議会でも意義があったのだらうと思います。しかし、子ども虐待防止に関してはその裾野が広がり、関係団体も交換すべき情報も非常に多くなっております。年1回2時間の意見交換では限られており、スピードアップした現代、協議会の意義が掴みにくくなっております。また、事務局にお問い合わせした結果では協議会そのものの要綱にあたるものは作成されていないとのこと。年1回の会議だけが「協議会」なのか、「協議会」が存在して会議以外での協議会活動（情報交換）が可能なのかも明確ではないようです。本来の目的を考えれば、後者であるべきなのでしょう。情報交換を促進させるという目的のためには、協議会の在り方を明示することに加えて、ホームページを作成して、情報交換や意見交換を促進していただくなども有効であり、各団体も意義を感じられるものとなるのではないかと思います。いかがでしょうか？

2. 協議会参加団体に関して

現在、子ども虐待防止に係る団体は急速に増加してきております。新しく活動されている NPO 法人や社団法人などの団体こそご紹介いただき、連携を深める必要があるのではないのでしょうか。協議会参加団体に関してはどのように募集され、選定されておられるのかが不透明です。協議会参加団体の選定方法や基準を透明化していただくとともに、できるだけ多くの団体にご参加いただけることが必要ではないのでしょうか？

3. メンバーである省庁のご回答に関して

昨年度、法務省や文部科学省に質問をさせていただきました。議事録をご覧ください。法務省からはご検討いただけるとのご回答をいただきました。また、文部科学省からは「子どもの権利」の問題は児童虐待との関係として想定していなかったもので、詳しい資料を持ち合わせていないというご回答でした。法務省からは、ご検討いただいた結果をお教えいただきたいですし、文部科学省からは詳しい資料があるのでしたらお教えいただきたいと存じます。今年の協議会でご回答頂けると思っておりましたが、日本子ども虐待防止学会は出席できませんので、協議会でご回答頂いて議事録を拝見させていただきますよう、お願い申し上げます。

以上

日本子ども虐待防止学会

第23回学術集会ちば大会

JaSPCAN
CHIBA



すべては子ども
の笑顔のため
に
守り・育み・社会へ

会期 2017年12月2日(土)・3日(日)

場所 幕張メッセ国際会議場 JR京葉線 海浜幕張駅徒歩5分 東京駅から約30分
JR総武線 幕張本郷駅から京成バス15分

大会長 金子 重紀 (千葉明德短期大学 学長・弁護士)

参加登録 開始 6月1日(木) 早期割引
締切 9月30日(土)

参加登録と同時に宿泊予約等も可能です
学会ホームページ(<http://www.jaspcan.org/>)よりご応募下さい

参加費	早期割引 2017.9.30まで	通常/当日 割引なし
学会員	9,000円	11,000円
非会員	10,000円	12,000円
学生	3,500円	

※参加登録は6月1日より学会ホームページ上で開始します

主催 一般社団法人日本子ども虐待防止学会
日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会実行委員会

お問合せ

JaSPCAN第23回学術集会ちば大会事務局
e-mail: jaspcan.chiba@gmail.com

絵: ハッピーアート・浅香良太

主要プログラム

大会特別講演

「子ども家庭福祉分野における地域包括的・継続的支援の可能性」

柏女 霊峰 氏 | 淑徳大学総合福祉学部教授・同大学院教授

保育・子育て支援、障害児支援、社会的養護など領域ごとに断絶される子ども家庭福祉分野における「地域包括的・継続的支援」の在り方について、これまでの経緯や高齢者・障害者福祉分野の動向も踏まえつつその可能性を探るとともに、全国市区町村調査などをもとにその実現のための方策をお話しいたします。



国際プログラム

「エビデンスに基づく実践を考える」

Carey Oppenheim 氏 | Chief Executive of the Early Intervention Foundation

現場の専門職が限られた時間と財源の中でニーズに応じた最も効果的な支援を提供することは重要です。どのような支援が子どもや親にとってより高い効果・成果につながるか、諸外国では実践と研究と政策をつなぐ「エビデンス」が持つ可能性に高い関心が集まっています。今回、英国における子どもへの「早期介入」を軸とするエビデンスに基づく実践についてお話しいたします。



大会企画シンポジウム

魅力的なシンポジストを迎え、9つの大会企画シンポジウムを行います
詳細は学会HPでご確認下さい <http://www.jaspcan.org/>



- ✓ 子ども虐待をめぐる行政の今と未来
- ✓ 子ども福祉領域におけるエビデンスに基づく実践の方策
- ✓ 家族を支える子ども虐待対応の最前線
- ✓ 社会的養護の子どもの参加・参画をめぐる～当事者の声とそれを支える大人たちの役割～
- ✓ 子どもの死因究明制度の普及に向けて
- ✓ 子ども虐待における多職種連携教育～多機関連携推進の鍵として～
- ✓ もしもあなたが貧困になったら～貧困・虐待・レジリエンス～
- ✓ 市町村・地域からの挑戦～子どものために未来を語る・創る～
- ✓ 切れ目のない支援に向けて～『18歳』を考える～



『Sings of Safety』の著者
「家族を支える子ども虐待対応の最前線」に登壇予定
Andrew Turnell 氏



『values-based practice』の著者で英国Warwick大学教授
「子ども虐待における多職種連携教育」に登壇予定
Edward Peile 氏



『ネグレクト育児放棄-真奈ちゃんなぜ死んだか-』の著者「もしもあなたが貧困になったら」に登壇予定
杉山 春 氏

教育講演

9つのテーマについて概論から最近のトピックまで、その分野の専門家の方々にご講演頂きます
詳細は学会HPでご確認下さい <http://www.jaspcan.org/>

- 発達障害と子ども虐待
- スクール・ソーシャルワーク
- 家庭内性暴力被害を受けた子どもの初期ケア
- 心理的視点から見た里親支援

等

